

# 技能実習1号実施計画書モデル例

技能実習1号イ  
 技能実習1号ロ

2011年 3月 1日 作成

【技能実習1号  
 予定期間】 2010年 7月 1日 ~ 2011年 7月 1日

【監理団体】(技能実習1号ロの場合)

【実習実施機関】

【技能実習生人数】 春夏秋冬 他 1名

名称: 国際研修協同組合  
 責任者: 国際 次郎  
 (役職): (事務局長)

名称: 株式会社宮崎水産  
 責任者: 技能 実夫  
 (役職): (総務部長)

【到達目標】目標: 技能評価初級合格  
 時期: 技能実習1号の9月目 確認方法: 技能評価初級の受験

【実習実施場所】 名称: 株式会社宮崎水産  
 所在地: 東京都新宿区西新宿〇-〇-〇

技能実習科目(技能実習内容) 技能実習指導員の役職・氏名(経験年数)	総時間	技能実習月・時間数											
		1月目	2月目	3月目	4月目	5月目	6月目	7月目	8月目	9月目	10月目	11月目	12月目
講習	320	△	△										
1 必須作業(移行対象職種・作業で必ず行う作業)													
(1) 刺し網漁業													
① 漁具の製作・補修作業													
1. まき結び作業													
2. もやい結び作業													
3. アイスブライス作業													
4. 網針に網糸を巻く作業													
5. 網糸で網地を編む作業													
6. 同目合網地を網糸で繋ぐ作業													
7. 網端と網端を「せばいと」で繋ぐ作業													
② 漁具・漁労機械の操作作業													
1. 投網開始時に標識(ラジオブイ、ぼんでん竿等)を準備し、取り付ける作業													
2. 漁獲魚を素早く網から外す作業													
3. 整反作業													
③ 漁獲物の処理作業													
1. 漁獲物の種類分け作業													
2. 漁獲物のサイズ分け作業													
(2) 安全衛生作業													
1. 雇い入れ時等の安全衛生教育													
2. 乗船時の安全教育													
3. 作業開始前の安全装置等の点検作業													
4. 漁船漁業職種に必要な整理整頓作業													
5. 漁船漁業職種の作業用機械及び周囲の安全確認作業													
6. 保護具(作業用救命胴衣、安全帽、安全ベルト、命綱、安全靴等)の着用と服装の安全点検・収納作業													
7. 保護具(作業用救命胴衣、安全帽、安全ベルト、命綱、安全靴等)の装着、収納の必要性についての説明作業													
8. 安全装置の使用等による安全作業													
9. 労働衛生上の有害性を防止するための作業													
10. 異常時及び事故発生時の応急措置を習得する作業													
11. 操業時の事故(転倒、海中転落、落下物、噛みつかれ等)防止作業													
12. 消火器による初期消火作業													
漁労長: 国際太郎(25年)													
※	80												
2 関連作業、周辺作業													
(1) 関連作業													
1. 水揚げ作業の準備													
2. 水揚げ作業(陸上選別を含む。)													
3. 陸上での漁具製作・補修作業													
4. 陸上での漁労機器点検作業													
(2) 周辺作業													
1. 出港時の漁具積み込み作業													
2. 帰港時の漁具積み下ろし作業													
3. 船体補修作業													
(3) 安全衛生作業(関連作業、周辺作業を行う場合は必ず実施する作業)													
上記※に同じ													
漁労長: 国際太郎(25年)													
合計 時間	1600												
総技能実習時間(講習+技能実習)	1920	160	160	160	160	160	160	160	160	160	160	160	160

(注) 予定表には、当該科目の開始月より修了月までの間を矢印(←→)で結び、矢印の上に各月に行う時間数を記載してください。

使用する素材(材料)	特に無し																														
使用する機械、設備、器具等(該当するものを選択すること。)	<p>①漁労機械類(1. は必ず使用し、他は必要に応じて使用すること)</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 刺し網漁船</td> <td>6. 送網管</td> <td>11. 網置場</td> </tr> <tr> <td>2. 魚群探知機</td> <td>7. サイドローラー</td> <td>12. 手動式選別機</td> </tr> <tr> <td>3. GPS</td> <td>8. 網捌き機</td> <td>13. 自動式選別機</td> </tr> <tr> <td>4. 揚網用ネットホーラー</td> <td>9. 浮子捌き機</td> <td>14. 魚艙</td> </tr> <tr> <td>5. ネットキャリアー</td> <td>10. 投網用ローラー</td> <td></td> </tr> </table> <p>②漁具類(1. は必ず使用し、他は必要に応じて使用すること)</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 刺し網</td> <td>6. 沈子網</td> <td>11. ランプ(だるま灯)</td> </tr> <tr> <td>2. 身網</td> <td>7. せば糸</td> <td>12. 魚箱(発泡スチロール箱)</td> </tr> <tr> <td>3. 浮子</td> <td>8. 浮き(丸あば)</td> <td>13. 錨(土俵)</td> </tr> <tr> <td>4. 浮子網</td> <td>9. ぼんでん竿</td> <td>14. 漁具等仕様書</td> </tr> <tr> <td>5. 沈子</td> <td>10. ラジオブイ</td> <td></td> </tr> </table>	1. 刺し網漁船	6. 送網管	11. 網置場	2. 魚群探知機	7. サイドローラー	12. 手動式選別機	3. GPS	8. 網捌き機	13. 自動式選別機	4. 揚網用ネットホーラー	9. 浮子捌き機	14. 魚艙	5. ネットキャリアー	10. 投網用ローラー		1. 刺し網	6. 沈子網	11. ランプ(だるま灯)	2. 身網	7. せば糸	12. 魚箱(発泡スチロール箱)	3. 浮子	8. 浮き(丸あば)	13. 錨(土俵)	4. 浮子網	9. ぼんでん竿	14. 漁具等仕様書	5. 沈子	10. ラジオブイ	
1. 刺し網漁船	6. 送網管	11. 網置場																													
2. 魚群探知機	7. サイドローラー	12. 手動式選別機																													
3. GPS	8. 網捌き機	13. 自動式選別機																													
4. 揚網用ネットホーラー	9. 浮子捌き機	14. 魚艙																													
5. ネットキャリアー	10. 投網用ローラー																														
1. 刺し網	6. 沈子網	11. ランプ(だるま灯)																													
2. 身網	7. せば糸	12. 魚箱(発泡スチロール箱)																													
3. 浮子	8. 浮き(丸あば)	13. 錨(土俵)																													
4. 浮子網	9. ぼんでん竿	14. 漁具等仕様書																													
5. 沈子	10. ラジオブイ																														
製品の例	<table border="0"> <tr> <td>1. マカジキ</td> <td>6. カツオ</td> <td>11. トビウオ</td> </tr> <tr> <td>2. メカジキ</td> <td>7. キハダ</td> <td>12. メダイ</td> </tr> <tr> <td>3. クロカジキ</td> <td>8. ピンナガ(ピンチョウ、トンボ)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4. シロカジキ</td> <td>9. サワラ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>5. パンショウカジキ</td> <td>10. シイラ</td> <td></td> </tr> </table>	1. マカジキ	6. カツオ	11. トビウオ	2. メカジキ	7. キハダ	12. メダイ	3. クロカジキ	8. ピンナガ(ピンチョウ、トンボ)		4. シロカジキ	9. サワラ		5. パンショウカジキ	10. シイラ																
1. マカジキ	6. カツオ	11. トビウオ																													
2. メカジキ	7. キハダ	12. メダイ																													
3. クロカジキ	8. ピンナガ(ピンチョウ、トンボ)																														
4. シロカジキ	9. サワラ																														
5. パンショウカジキ	10. シイラ																														
指導体制	<p>指導員名 国際 太郎</p> <p>免許・資格等</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>○級海技士(航海)免許</li> <li>○級海技士(機関)免許</li> <li>揚貨装置運転士免許</li> <li>フォークリフト運転技能講習修了</li> <li>漁船漁業技能評価試験(刺し網:日本人級)合格</li> </ol>																														

# 技能実習2号(1年目)実施計画書モデル例

技能実習2号イ  
 技能実習2号ロ

技能実習2号1年コース  技能実習2号2年コース (  年目  年目 )

2011年 3月 1日 作成

【技能実習2号 予定期間】 2011年 7月 1日 ~ 2012年 7月 1日

【監理団体】(技能実習2号ロの場合)

【実習実施機関】

【技能実習 対象職種】 職種名: 漁船漁業

名称: 国際研修協同組合

名称: 株式会社宮崎水産

【技能実習生人数】 作業名: 刺し網漁業

責任者: 国際 次郎

責任者: 技能 実夫

【到達目標】目標: 技能評価中級合格

(役職): (事務局長)

(役職): (総務部長)

時期: 技能実習2号1年目の9月目 確認方法: 技能評価中級の受験

【実習実施場所】 名称: 株式会社宮崎水産  
 所在地: 東京都新宿区西新宿〇-〇-〇

技能実習科目(技能実習内容) 技能実習指導員の役職・氏名(経験年数)	総時間	技能実習月・時間数											
		1月目	2月目	3月目	4月目	5月目	6月目	7月目	8月目	9月目	10月目	11月目	12月目
<b>1 必須作業(移行対象職種・作業で必ず行う作業)</b>													
(1)刺し網漁業													
①漁具の製作・補修作業													
1.まき結び作業													
2.もやい結び作業													
3.本目結び作業													
4.アイズブライス作業													
5.ショートスブライス作業													
6.網針に網糸を巻く作業													
7.網糸で網地を編む作業													
8.網地の穴(欠損部)に網目を編み補修する作業													
9.同日合網地を網糸で繋ぐ作業													
10.網端と網端を「せばいと」で繋ぐ作業													
11.網地の縁に縁網を編む作業													
②漁具・漁労機械の操作作業													
1.魚群探知機による魚群探索作業													
2.魚群探知機による測深(海底の深さ測定)作業													
3.投網開始時に標識(ラジオブイ、ぼんでん竿等)の準備作業及び取り付け作業													
4.揚網状況に合わせて、網を船尾にネットキャリアーで送る作業													
5.漁獲魚を素早く網から外す作業													
6.整反作業													
③漁獲物の処理作業													
1.漁獲物の種類分け作業													
2.漁獲物のサイズ分け作業													
3.漁獲物の鮮度保持(神経切断)作業													
(2)安全衛生作業													
1.雇い入れ時等の安全衛生教育													
2.乗船時の安全教育													
3.作業開始前の安全装置等の点検作業													
4.漁船漁業職種に必要な整理整頓作業													
5.漁船漁業職種の作業用機械及び周囲の安全確認作業													
6.保護具(作業用救命胴衣、安全帽、安全ベルト、命綱、安全靴等)の着用と服装の安全点検・収納作業													
7.保護具(作業用救命胴衣、安全帽、安全ベルト、命綱、安全靴等)の装着、収納の必要性についての説明作業													
8.安全装置の使用等による安全作業													
9.労働衛生上の有害性を防止するための作業													
10.異常時及び事故発生時の応急措置を習得する作業													
11.操業時の事故(転倒、海中転落、落下物、噛みつかれ等)防止作業													
12.消火器による初期消火作業													
漁労長: 国際太郎 (25年)													
<b>2 関連作業、周辺作業</b>													
(1)関連作業													
1.水揚げ作業の準備													
2.水揚げ作業(陸上選別を含む。)													
3.陸上での漁具製作・補修作業													
4.陸上での漁労機器点検作業													
(2)周辺作業													
1.出港時の漁具積み込み作業													
2.帰港時の漁具積み下ろし作業													
3.船体補修作業													
(3)安全衛生作業(関連作業、周辺作業を行う場合は必ず実施する作業) 上記※に同じ													
漁労長: 国際太郎 (25年)													
<b>合 計 時 間</b>	<b>1920</b>	<b>160</b>	<b>160</b>	<b>160</b>	<b>160</b>	<b>160</b>	<b>160</b>	<b>160</b>	<b>160</b>	<b>160</b>	<b>160</b>	<b>160</b>	<b>160</b>

(注) 予定表には、当該科目の開始月より終了月までの間を矢印(←→)で結び、矢印の上に各月に行う時間数を記載してください。

使用する素材(材料)	特に無し																														
使用する機械、設備、器具等(該当するものを選択すること。)	<p>①漁労機械類(1. は必ず使用し、他は必要に応じて使用すること)</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 刺し網漁船</td> <td>6. 送網管</td> <td>11. 網置場</td> </tr> <tr> <td>2. 魚群探知機</td> <td>7. サイドローラー</td> <td>12. 手動式選別機</td> </tr> <tr> <td>3. GPS</td> <td>8. 網捌き機</td> <td>13. 自動式選別機</td> </tr> <tr> <td>4. 揚網用ネットホーラー</td> <td>9. 浮子捌き機</td> <td>14. 魚艙</td> </tr> <tr> <td>5. ネットキャリアー</td> <td>10. 投網用ローラー</td> <td></td> </tr> </table> <p>②漁具類(1. は必ず使用し、他は必要に応じて使用すること)</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 刺し網</td> <td>6. 沈子網</td> <td>11. ランプ(だるま灯)</td> </tr> <tr> <td>2. 身網</td> <td>7. せば糸</td> <td>12. 魚箱(発泡スチロール箱)</td> </tr> <tr> <td>3. 浮子</td> <td>8. 浮き(丸あば)</td> <td>13. 罎(土俵)</td> </tr> <tr> <td>4. 浮子網</td> <td>9. ぼんでん竿</td> <td>14. 漁具等仕様書</td> </tr> <tr> <td>5. 沈子</td> <td>10. ラジオブイ</td> <td></td> </tr> </table>	1. 刺し網漁船	6. 送網管	11. 網置場	2. 魚群探知機	7. サイドローラー	12. 手動式選別機	3. GPS	8. 網捌き機	13. 自動式選別機	4. 揚網用ネットホーラー	9. 浮子捌き機	14. 魚艙	5. ネットキャリアー	10. 投網用ローラー		1. 刺し網	6. 沈子網	11. ランプ(だるま灯)	2. 身網	7. せば糸	12. 魚箱(発泡スチロール箱)	3. 浮子	8. 浮き(丸あば)	13. 罎(土俵)	4. 浮子網	9. ぼんでん竿	14. 漁具等仕様書	5. 沈子	10. ラジオブイ	
1. 刺し網漁船	6. 送網管	11. 網置場																													
2. 魚群探知機	7. サイドローラー	12. 手動式選別機																													
3. GPS	8. 網捌き機	13. 自動式選別機																													
4. 揚網用ネットホーラー	9. 浮子捌き機	14. 魚艙																													
5. ネットキャリアー	10. 投網用ローラー																														
1. 刺し網	6. 沈子網	11. ランプ(だるま灯)																													
2. 身網	7. せば糸	12. 魚箱(発泡スチロール箱)																													
3. 浮子	8. 浮き(丸あば)	13. 罎(土俵)																													
4. 浮子網	9. ぼんでん竿	14. 漁具等仕様書																													
5. 沈子	10. ラジオブイ																														
製品の例	<table border="0"> <tr> <td>1. マカジキ</td> <td>6. カツオ</td> <td>11. トビウオ</td> </tr> <tr> <td>2. メカジキ</td> <td>7. キハダ</td> <td>12. メダイ</td> </tr> <tr> <td>3. クロカジキ</td> <td>8. ビンナガ(ピンチョウ、トンボ)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4. シロカジキ</td> <td>9. サワラ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>5. パシヨウカジキ</td> <td>10. シイラ</td> <td></td> </tr> </table>	1. マカジキ	6. カツオ	11. トビウオ	2. メカジキ	7. キハダ	12. メダイ	3. クロカジキ	8. ビンナガ(ピンチョウ、トンボ)		4. シロカジキ	9. サワラ		5. パシヨウカジキ	10. シイラ																
1. マカジキ	6. カツオ	11. トビウオ																													
2. メカジキ	7. キハダ	12. メダイ																													
3. クロカジキ	8. ビンナガ(ピンチョウ、トンボ)																														
4. シロカジキ	9. サワラ																														
5. パシヨウカジキ	10. シイラ																														
指導体制	<p>指導員名 国際 太郎</p> <p>免許・資格等</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>○級海技士(航海)免許</li> <li>○級海技士(機関)免許</li> <li>揚貨装置運転士免許</li> <li>フォークリフト運転技能講習修了</li> <li>漁船漁業技能評価試験(刺し網:日本人級)合格</li> </ol>																														

# 技能実習2号(2年目)実施計画書モデル例

技能実習2号イ  
 技能実習2号ロ

技能実習2号1年コース  技能実習2号2年コース  1年目  2年目

2011年 3月 1日 作成

【技能実習2号 予定期間】 2012年 7月 1日 ~ 2013年 7月 1日

【監理団体】(技能実習2号ロの場合)

【実習実施機関】

【技能実習 職種名】 漁船漁業

名称: 国際研修協同組合

名称: 株式会社宮崎水産

【技能実習 対象職種】 作業名: 刺し網漁業

責任者: 国際 次郎

責任者: 技能 実夫

【技能実習生人数】 春夏秋冬 他 1名

(役職): (事務局長)

(役職): (総務部長)

【到達目標】目標: 技能評価専門級合格

【実習実施場所】

名称: 株式会社宮崎水産

時期: 技能実習2号2年目の9月目 確認方法: 技能評価専門級の受験

所在地: 東京都新宿区西新宿〇-〇-〇

技能実習科目(技能実習内容) 技能実習指導員の役職・氏名(経験年数)	総時間	技能実習月・時間数											
		1月目	2月目	3月目	4月目	5月目	6月目	7月目	8月目	9月目	10月目	11月目	12月目
<b>1 必須作業(移行対象職種・作業で必ず行う作業)</b> (1)刺し網漁業 ①漁具の製作・補修作業 1.まき結び作業 2.もやい結び作業 3.いかり結び作業 4.ロープの端留作業 5.本目結び作業 6.かえる又結び作業 7.アيسブライス作業 8.ショートスブライス作業 9.ロングスブライス作業 10.網針に網糸を巻く作業 11.網糸で網地を編む作業 12.網地の穴(欠損部)に網目を編み補修する作業 13.同目合網地を網糸で繋ぐ作業 14.網端と網端を「せばい」とで繋ぐ作業 15.網地の縁に浮子(あば)網や沈子(いわ:おもりのこと)網を取り付ける作業 16.網地の縁に縁網を編む作業 17.網地の縮結を計算する作業 18.一定目合、縮結の網地で長さ幅を計算する作業 ②漁具・漁労機械の操作作業 1.GPSを使用して最適な漁具の配置と展開方法を勘案する作業 2.魚群探知機による魚群探索作業 3.魚群探知機による測深(海底の深さ測定)作業 4.投網開始時に標識(ラジオブイ、ぼんでん竿等)の準備作業及び取り付け作業 5.投網時に網地の展張について注意し、網地の破れについて注意する作業 6.揚網開始時に標識(ラジオブイ、ぼんでん竿等)を取り込む作業 7.揚網状況に合わせて、網を船尾にネットキャリアーで送る作業 8.漁獲魚を素早く網から外す作業 9.揚網機を操作して網を揚げる作業 10.整反作業 ③漁獲物の処理作業 1.漁獲物の種類分け作業 2.漁獲物のサイズ分け作業 3.漁獲物を種類別、サイズ別に選別した後、魚箱(発泡スチロール箱)に鮮度保持用の氷と共に一定量毎に収容する作業 4.漁獲物の鮮度保持(神経切断)作業 5.漁獲物の鮮度保持(鰓、内臓の除去)作業 (2)安全衛生作業 1.雇い入れ時等の安全衛生教育 2.乗船時の安全教育 3.作業開始前の安全装置等の点検作業 4.漁船漁業職種に必要な整理整頓作業 5.漁船漁業職種の作業用機械及び周囲の安全確認作業 6.保護具(作業用救命胴衣、安全帽、安全ベルト、命綱、安全靴等)の着用と服装の安全点検・収納作業 7.保護具(作業用救命胴衣、安全帽、安全ベルト、命綱、安全靴等)の装着、収納の必要性についての説明作業 8.安全装置の使用等による安全作業 9.労働衛生上の有害性を防止するための作業 10.異常時及び事故発生時の応急措置を習得する作業 11.換業時の事故(転倒、海中転落、落下物、噛みつかれ等)防止作業 12.消火器による初期消火作業 漁労長: 国際太郎(25年)	864	←	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
※ 2 関連作業、周辺作業 (1)関連作業 1.水揚げ作業の準備 2.水揚げ作業(陸上選別を含む。) 3.陸上での漁具製作・補修作業 4.陸上での漁労機器点検作業 (2)周辺作業 1.出港時の漁具積み込み作業 2.帰港時の漁具積み下ろし作業 3.船体補修作業 (3)安全衛生作業(関連作業、周辺作業を行う場合は必ず実施する作業) 上記※に同じ 漁労長: 国際太郎(25年)	96	←	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
576 288 96	←	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
合計	1920	160	160	160	160	160	160	160	160	160	160	160	160

(注) 予定表には、当該科目の開始月より終了月までの間を矢印(←→)で結び、矢印の上に各月に行う時間数を記載してください。

使用する素材(材料)	特に無し																														
使用する機械、設備、器具等(該当するものを選択すること。)	<p>①漁労機械類(1. は必ず使用し、他は必要に応じて使用すること)</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 刺し網漁船</td> <td>6. 送網管</td> <td>11. 網置場</td> </tr> <tr> <td>2. 魚群探知機</td> <td>7. サイドローラー</td> <td>12. 手動式選別機</td> </tr> <tr> <td>3. GPS</td> <td>8. 網捌き機</td> <td>13. 自動式選別機</td> </tr> <tr> <td>4. 揚網用ネットホーラー</td> <td>9. 浮子捌き機</td> <td>14. 魚艙</td> </tr> <tr> <td>5. ネットキャリアー</td> <td>10. 投網用ローラー</td> <td></td> </tr> </table> <p>②漁具類(1. は必ず使用し、他は必要に応じて使用すること)</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 刺し網</td> <td>6. 沈子網</td> <td>11. ランプ(だるま灯)</td> </tr> <tr> <td>2. 身網</td> <td>7. せば糸</td> <td>12. 魚箱(発泡スチロール箱)</td> </tr> <tr> <td>3. 浮子</td> <td>8. 浮き(丸あば)</td> <td>13. 錨(土俵)</td> </tr> <tr> <td>4. 浮子網</td> <td>9. ぼんでん竿</td> <td>14. 漁具等仕様書</td> </tr> <tr> <td>5. 沈子</td> <td>10. ラジオブイ</td> <td></td> </tr> </table>	1. 刺し網漁船	6. 送網管	11. 網置場	2. 魚群探知機	7. サイドローラー	12. 手動式選別機	3. GPS	8. 網捌き機	13. 自動式選別機	4. 揚網用ネットホーラー	9. 浮子捌き機	14. 魚艙	5. ネットキャリアー	10. 投網用ローラー		1. 刺し網	6. 沈子網	11. ランプ(だるま灯)	2. 身網	7. せば糸	12. 魚箱(発泡スチロール箱)	3. 浮子	8. 浮き(丸あば)	13. 錨(土俵)	4. 浮子網	9. ぼんでん竿	14. 漁具等仕様書	5. 沈子	10. ラジオブイ	
1. 刺し網漁船	6. 送網管	11. 網置場																													
2. 魚群探知機	7. サイドローラー	12. 手動式選別機																													
3. GPS	8. 網捌き機	13. 自動式選別機																													
4. 揚網用ネットホーラー	9. 浮子捌き機	14. 魚艙																													
5. ネットキャリアー	10. 投網用ローラー																														
1. 刺し網	6. 沈子網	11. ランプ(だるま灯)																													
2. 身網	7. せば糸	12. 魚箱(発泡スチロール箱)																													
3. 浮子	8. 浮き(丸あば)	13. 錨(土俵)																													
4. 浮子網	9. ぼんでん竿	14. 漁具等仕様書																													
5. 沈子	10. ラジオブイ																														
製品の例	<table border="0"> <tr> <td>1. マカジキ</td> <td>6. カツオ</td> <td>11. トビウオ</td> </tr> <tr> <td>2. メカジキ</td> <td>7. キハダ</td> <td>12. メダイ</td> </tr> <tr> <td>3. クロカジキ</td> <td>8. ピンナガ(ピンチョウ、トンボ)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4. シロカジキ</td> <td>9. サワラ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>5. パショウカジキ</td> <td>10. シイラ</td> <td></td> </tr> </table>	1. マカジキ	6. カツオ	11. トビウオ	2. メカジキ	7. キハダ	12. メダイ	3. クロカジキ	8. ピンナガ(ピンチョウ、トンボ)		4. シロカジキ	9. サワラ		5. パショウカジキ	10. シイラ																
1. マカジキ	6. カツオ	11. トビウオ																													
2. メカジキ	7. キハダ	12. メダイ																													
3. クロカジキ	8. ピンナガ(ピンチョウ、トンボ)																														
4. シロカジキ	9. サワラ																														
5. パショウカジキ	10. シイラ																														
指導体制	<p>指導員名 国際 太郎</p> <p>免許・資格等</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>○級海技士(航海)免許</li> <li>○級海技士(機関)免許</li> <li>揚貨装置運転士免許</li> <li>フォークリフト運転技能講習修了</li> <li>漁船漁業技能評価試験(刺し網:日本人級)合格</li> </ol>																														